

## ⑪ 栗野福富線

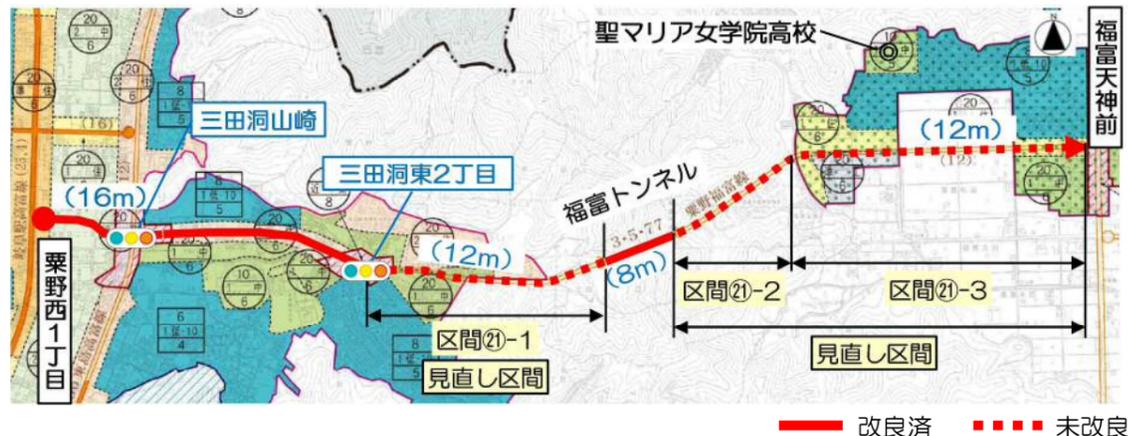
### 路線の概要

#### 現在の計画

- 栗野福富線は昭和58年の都市計画道路網の再編に合わせて北東部の東西方向の幹線街路として決定されました。
- その後、延長や幅員等が変更され、現在は栗野西1丁目～福富天神前を起終点とし、計画延長4,270m、標準幅員12mの幹線街路として都市計画決定しています。

#### 整備状況

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 【栗野西1丁目～三田洞山崎交差点西側】     | 【三田洞山崎交差点付近】          |
| ○改良済                    | ○未改良で現道があります。         |
| 【三田洞山崎交差点東側～三田洞東2丁目交差点】 | 【三田洞東2丁目交差点～福富トンネル西側】 |
| ○改良済                    | ○未改良で現道があります。         |
| 【福富トンネル】                | 【福富トンネル～福富天神前】        |
| ○改良済                    | ○未改良で現道があります。         |



### 見直しの理由・内容

#### 路線の主な役割・機能

○岐阜市北東部の東西方向の都市幹線街路として、まちづくりの骨格を形成する機能が求められています。

#### 見直しの理由

#### 変更

#### 歩道機能の変化

○2車線両側歩道で計画されていますが、区間の大部分が市街化調整区域で、沿道への住宅や施設等の立地の拡大は見込めないため、**現道の幅員2.0～2.5mの片側歩道でも対応可能**と考えられます。

○市街化区域の区間は両側に幅員2.0mの歩道が整備されており、**現道でも対応可能**と考えられます。

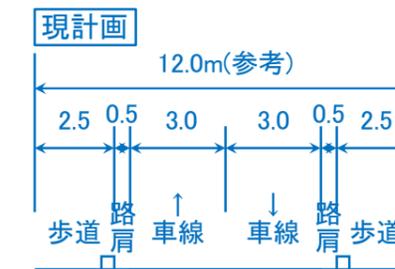
○現道は既に2車線の車道が確保されており、現道幅員に合わせ**2車線片側歩道に変更**しても、北東部の東西方向の幹線街路としての**機能を果たしている**と考えられます。



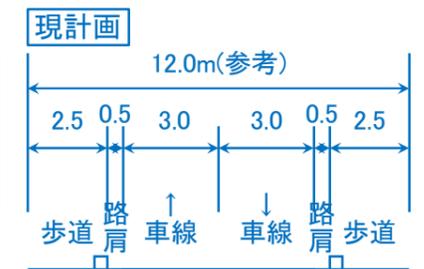
●現道は区間の大部分で2車線の片側歩道となっています。

#### 道路断面図(参考)

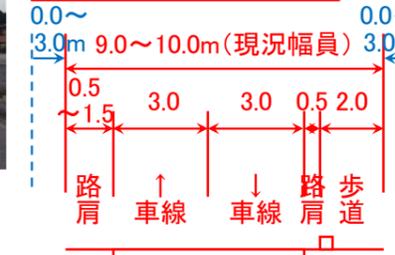
#### 区間・-1・-2



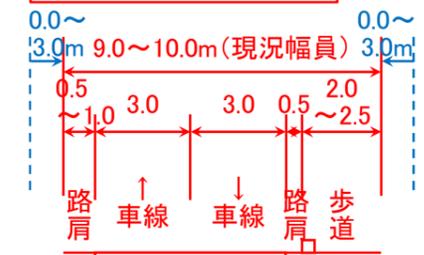
#### 区間・-3



#### 変更計画案(現況断面)



#### 変更計画案(現況断面)

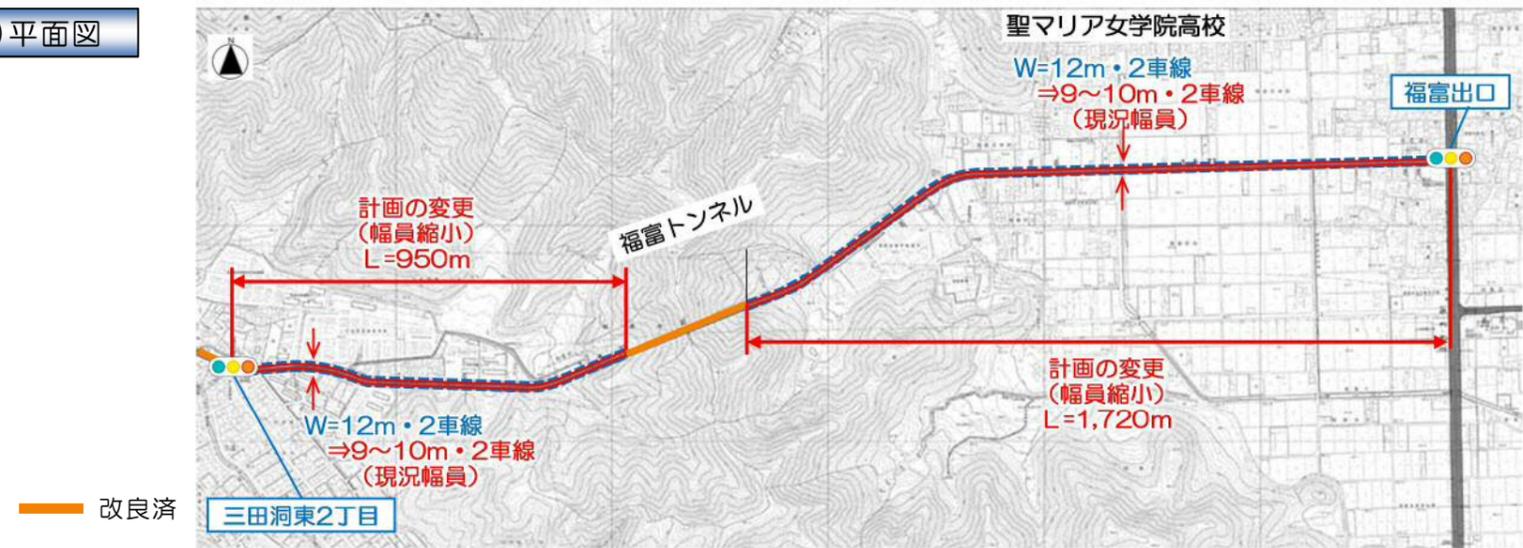


### 都市計画変更(案)の内容

#### 【3・5・77 栗野福富線】

- 三田洞東2丁目交差点から福富トンネル西側付近の延長約950mの区間は、計画幅員12m・2車線から現況幅員の9～10m・2車線に縮小する「計画の変更(幅員縮小)」と考えます。
- 福富トンネル東側付近から福富出口交差点の延長約1,720mの区間は、計画幅員12m・2車線から現況幅員の9～10m・2車線に縮小する「計画の変更(幅員縮小)」と考えます。

### 都市計画変更(案)平面図



## ⑳栗野福富線

### 現地の状況写真

